

神戸の秋の風物詩 **みのりの秋を迎えた西神戸・東播磨 里の秋**

1. 「頭を垂れる稲穂が黄金色に輝く田園の畔を彩る彼岸花」近隣の里で
すぐ近くの白川の里 & 丹生山塊を超えて北東の淡河の里へ
2. 東播磨の丘陵地 酒米「山田錦」の郷 酒米栽培地の畔を飾る酒蔵の旗
3. 小野アルプス山裾を一面真っ白に染めて純白の蕎麦の花が咲くそば畑
加古川西岸 小野市来住 きすみ野のそば畑
4. 秋の七草「藤袴」の花に群がる渡りの蝶「アサギマダラ」の飛来を探して
西六甲の散歩道 横尾山山腹横尾道&旗振り山 藤袴の保護栽培地で



神戸の秋の風物詩 202310月みよりの秋を迎えた神戸の秋便り 実りの秋を迎えた西神戸・東播磨里景色 2023.9.25.



南の織野台地の坂道より眺める 中央を千鳥川が流れる下る田原の奥に広がる梨の里 2023.9.25.
撮影の場所は国道175号から南の織野台地の坂道から撮影したものです。



淡河の里



東播磨の郷の初秋の風物詩 加古川東岸小野アルプスの山裾 小野市来住野のそば畑
今年も白の小さな花が畑を真っ白にして咲き始めました。 2023.9.25.



白川街道 北須磨 白川の里で 2023.9.23.



野路菊の丘



旗振山

神戸の秋の風物詩 2023 稔りの秋を迎えた西神戸・東播磨 里の秋<2>

東播磨の丘陵地 酒米の郷の畔を飾る酒蔵の旗 2023.9.25.

兵庫が誇る酒米「山田錦」加東市木梨の里を訪ねる

山田錦を初めて実用化試験栽培今日の酒米「山田錦」を誕生させた発祥の地の一つ
幻の酒米といわれる剣菱の酒米「愛山」を酒蔵「剣菱」と共に守り抜いてきた里
通い始めてもう10数年 今年には彼岸花が稔りの酒米の畔を飾る里景色に







東西に走る丘陵地を背に 集落の北に広がる木梨の里の北の酒米栽培地で 2023.9.25
毎年眺める木梨の里の木梨の里(北)の秋景色 デジカメの調子悪く 残念ながらピンボケに



木梨の里の集落を北に抜けると中国自動車道が山裾を走る広大な木梨の里(北)の田圃地
酒米の里ならではの美しい秋景色2023 2023.9.25.
スズキとヒガンバナと顔を養える酒米の稲穂 みのりの秋を象徴する里の秋

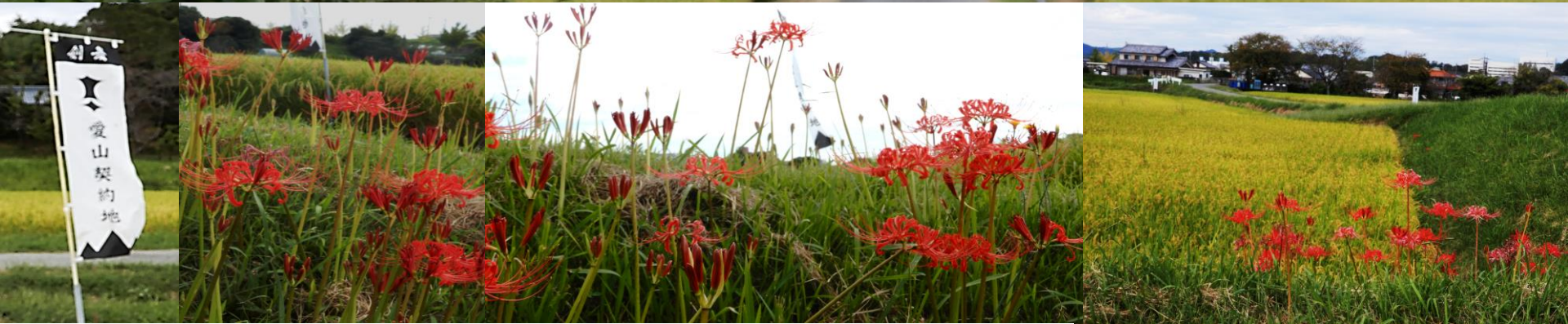
国道175号を北へ駆けて、中国道滝野・社ICのある加東市木梨の里へ
丘陵地が広がる東播磨の田園都市 酒米山田錦の郷 初秋の素晴らしい里の秋
東播磨の秋の風物詩 稔りを迎えた黄金色の酒米の栽培地に全国の酒蔵の旗が幾本も立ち並ぶ
かつて 誕生したばかりの山田錦を初めて実用化試験栽培して今日の酒米「山田錦」を誕生させた発祥の地。
とりわけ木梨の里は灘の酒蔵「剣菱」幻の酒米「愛山」を酒蔵と苦楽を共に守り抜いてきた里としても
知られる酒米の里。

この素晴らしい秋の里景色が好きでいつもこの時期原チャリで駆けて20年近く
本年は彼岸花の咲くのが遅れ、輝く稔りの酒米の畔を真っ赤な彼岸花が飾る美しい里景色に

西神戸 神出の里から北へ 国道175号線に入り、
加古川東岸に広がる田園地帯 三木市・小野市の街並通り抜けて1時間弱
嬉野台地の上にある社の街並を通り抜けると中国道が東西に走る山裾を背にぱっと広がる田園
その畔に灘の酒蔵の旗がいくつも翻っているのが見える。
東播磨初秋の風物詩 里の秋」みのりの秋を迎えた酒米山田錦の郷 加東市 の木梨の里
この加東市の木梨の郷はとりわけ、昭和の初めから 灘の酒蔵「剣菱」との結びつきが強く、
幻の酒米といわれる剣菱の酒米「愛山」をこの里の契約農家と苦楽を共に守り抜いてきた里として
知られている。本年は猛暑で彼岸花の咲くのが遅れ、お彼岸を過ぎて、咲き始めた彼岸花
とりわけ美しい里景色がみられると期待一杯で駆けてきました

■ 参考 2025年和鉄の道掲載記事より

1. 剣菱に宿るもの 「いかなるときも、ともに。信頼で結ばれた“運命共同体”
<https://www.kenbishi.co.jp/story/person4/>
2. 【風来坊2015】東播磨の田園に初秋を訪ねて 加古川沿いを北に駆ける 2025.9.5.
<https://infokkna.com/ironroad/2015htm/walk12/1510kakogawaweb.pdf>



南の嬉野台地の坂道より眺める 中央を千鳥川が流れ下る田園の奥に広がる木梨の里 2023.9.25.
家並の背後中国道沿いにも広大な酒米山田錦の栽培地が広がっている



木梨の里(南)の田園から下ってきた嬉野台地の坂を背に段々に整備された畔
真っ赤な彼岸花と灘の酒蔵の黄金に稔った酒米とヒガンバナが飾る酒米の栽培地
うれしいみのりの秋の里景色 木梨の里の南の田園で 2023.9.25.



みのりの穂 幻の酒米「愛山」栽培契約地で
中央を千鳥川が流れる田園の奥に広がる木梨の里(南)で 2023.9.25.



みのりの穂 幻の酒米「愛山」栽培契約地で2023.9.25.
中央を千鳥川が流れ下る田園の奥に広がる木梨の里(南)で



愛山栽培地の旗がいくつも畔を飾る 木梨の里(南)で2023.9.25.
幻の酒米「愛山」栽培契約地の北側より眺める



木梨の里(南)から北へ千鳥側沿いに広がる木梨の集落を抜けると
中国道が走る丘陵地の山裾に広がる広大な田園地 酒蔵の旗が広がる広大な酒米の栽培地



東西に走る丘陵地を背に 集落の北に広がる木梨の里の北の酒米栽培地で 2023.9.25
毎年眺める木梨の里の木梨の里(北)の秋景色 デジカメの調子悪く 残念ながらピンボケに



木梨の里の集落を北に抜けると中国自動車道が山裾を走る
広大な木梨の里(北)の田園地 2023.9.25.
実りの田の畔にはコスモスも盛りに



木梨の里の集落を北に抜けると中国自動車道が山裾を走る広大な木梨の里(北)の田園地
酒米の里ならではの美しい秋景色2023 2023.9.25.
ススキとヒガンバナと頭を垂れる酒米の稲穂 みのりの秋を象徴する里の秋



広大な木梨の里(北)の田園 酒米の里の美しい秋景色2023 2023.9.25.



広大な木梨の里(北)の田園 酒米の里の秋景色2023 2023.9.25.



広大な木梨の里(北)の田園 酒米の里の秋景色2023 2023.9.25.



広大な木梨の里(北)の田園

酒米の里の秋景色 点描 2023 2023.9.25.



酒米の郷 酒米の里 木梨の秋景色 点描2023 2023.9.25.
晴天に恵まれ、吹き来る風も心地よし ツーリング日和に

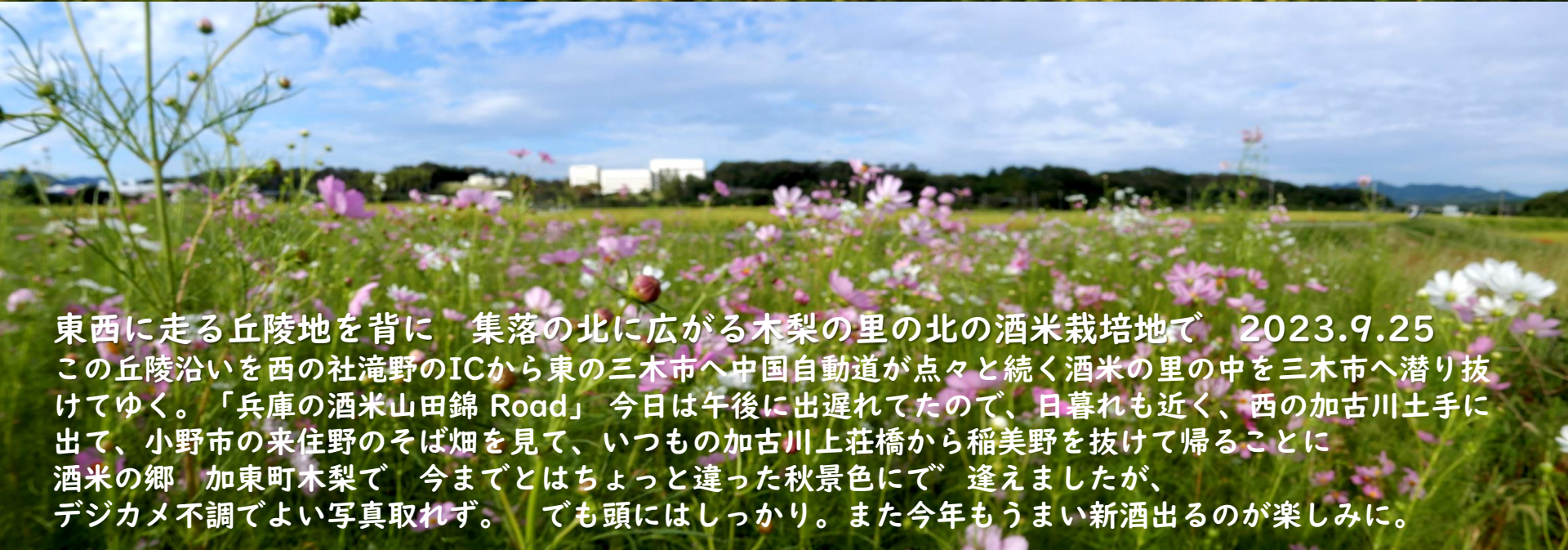


酒米の郷 酒米の里 木梨の秋景色 点描2023 2023.9.25.



加東市木梨の郷で栽培されてきた灘の酒蔵「剣菱」の酒米「愛山」は酒米の「ダイヤモンド」というらしい。
私の知るのは剣菱の酒「瑞穂」に山田錦と共に使われていると聞く
今年も東播磨の丘陵地に点々とながる酒米の郷では 酒蔵の旗が畔を飾るうれしい稔りの秋に。
長年酒蔵と栽培地の郷が共同して守り育てつけてきた酒米の証が畔にはためく酒蔵の旗。
芳醇な新酒が出回るのが待ち遠しい。 2023.9.25. 酒米の郷 加東市木梨の里で





東西に走る丘陵地を背に 集落の北に広がる木梨の里の北の酒米栽培地で 2023.9.25
この丘陵沿いを西の社滝野のICから東の三木市へ中国自動道が点々と続く酒米の里の中を三木市へ潜り抜けてゆく。「兵庫の酒米山田錦 Road」今日は午後に出遅れてたので、日暮れも近く、西の加古川土手に出て、小野市の来住野のそば畑を見て、いつもの加古川上荘橋から稲美野を抜けて帰ることに酒米の郷 加東町木梨で 今までとはちょっと違った秋景色にで 逢えましたが、デジカメ不調でよい写真取れず。 でも頭にはしっかり。また今年もうまい新酒出るのが楽しみに。



東西に走る丘陵地を背に 集落の北に広がる木梨の里の北の酒米栽培地で 2023.9.25
毎年眺める木梨の里の木梨の里(北)の秋景色 デジカメの調子悪く 残念ながらピンボケに



木梨の里の集落を元に掲げると中国自動車道が山裾を走る広大な木梨の里(北)の田園地
酒米の里ならではの美しい秋景色2023 2023.9.25.
ススキとヒガンバナと頭を垂れる酒米の稲穂 みのりの秋を象徴する里の秋



たわわに稔る酒米の稲穂 まだまだ 収穫はこれから・・・
酒米から新酒がでるのはいつ頃だろうか・・・
米を発酵させてもろみを作る酒造りを行う時期として考えると、
中心的なのが12月～3月、広く考えると10月～5月のようだ????。



「新酒は春一番に出す日本酒」を指す場合もある。
立春に搾った日本酒や立春に出荷する日本酒を新酒と呼ぶこともあるという。
この場合には2月3日が唯一新酒を手に入れられる日だという。
もう寒さに支配されず、環境コントロールの酒造りが行われるようになり、
この米が醸造される時期も大きく広がっていると思う。
でも 初秋 東播磨の郷の酒米の田の畔に酒蔵の旗が数多くはためくのを見ると酒の味もよくわからぬが、「新酒」の声が聴きたいと期待をふくらませ、
木梨の里を後にする。 2023.9.25. Mutsu Nakanishi

東播磨小野アルプスの山裾 小野市きすみ野 2023.9.25.夕
このきすみ野のそば畑の風景もまた、東播磨加古川東岸初秋の風物詩

JR加古川線小野町駅の駅蕎麦「きすみ野」のすぐそばのそば畑
今年ももう真っ白な花を咲かせていました。
この小野町駅の駅蕎麦の新そばも待ち遠しい





東播磨小野アルプスの山裾 小野市来住野

毎年彼岸花の季節になると毎年出かける加古川東岸、来住野初秋の風物詩








東播磨加古川東岸初秋の風物詩 きすみ野のそば畑
東播磨小野アルプスの山裾 小野市きすみ野

きすみ野のそば畑

西の鴨池から東へなだらかな傾斜地に広がる蕎麦畑の夕暮れ 2023.9.25.



きすみ野のそば畑 秋の夕暮れはつるべ落とし あっという間に夕暮れ
西の鴨池から東へなだらかな傾斜地に広がる蕎麦畑の夕暮れ 2023.9.25.夕
10月末のコスモスの花も近い また改めてこようと帰りを急ぐ

神戸の秋の風物詩 202310月みよりの秋を迎えた神戸の秋便り 実りの秋を迎えた西神戸・東播磨里景色 2023.9.25.



加東市 木梨の里



南の織野台地の坂道より眺める 中央を千鳥川が流れる下る田圃の奥に広がる木梨の里 2023.9.25.
撮影の場所は国道175号から南の織野台地の山頂のあたりにあります。



淡河の里



小野市 きすみ野

東播磨の郷の初秋の風物詩 加古川東岸小野アルプスの山裾 小野市来住野のそば畑
今年も白の小さな花が畑を真っ白にして咲き始めました。 2023.9.25.



箕谷 山田の里



白川街道・北須磨 白川の里で 2023.9.23.

押部谷



白川の里
若草



野路菊の丘



旗振山



酒米の郷 酒米の里 木梨の秋景色 点描2023 2023.9.25.

神戸の秋の風物詩 2023 稔りの秋を迎えた西神戸・東播磨 里の秋<2>

東播磨の丘陵地 酒米の郷の畔を飾る酒蔵の旗 2023.9.25.

兵庫が誇る酒米「山田錦」加東市木梨の里を訪ねる

山田錦を初めて実用化試験栽培今日の酒米「山田錦」を誕生させた発祥の地の一つ
幻の酒米といわれる剣菱の酒米「愛山」を酒蔵「剣菱」と共に守り抜いてきた里
通い始めてもう10数年 今年には彼岸花が稔りの酒米の畔を飾る里景色に





東西に走る丘陵地を背に 集落の北に広がる木梨の里の北の酒米栽培地で 2023.9.25
毎年眺める木梨の里の木梨の里(北)の秋景色 デジカメの調子悪く 残念ながらピンボケに



木梨の里の葉蔭を光に抜けると中国自動車道が山裾を走る広大な木梨の里(北)の田圃地
酒米の里ならではの美しい秋景色2023 2023.9.25.
スキとヒガンバナと頭を垂れる酒米の稲穂 みのりの秋を象徴する里の秋

久しぶりに加東市木梨まで駆けて、今までとは違ったアングルの秋景色が撮れたと喜んだのですが、デジカメの調子不調でピンボケPhotoばかりになってお許しください。 2023.6.25. Mutsu Nakanishi

神戸の秋の風物詩 202310月みよりの秋を迎えた神戸の秋便り 実りの秋を迎えた西神戸・東播磨里景色 2023.9.25.



加東市 木梨の里



南の織野台地の坂道より眺める 中央を千鳥川が流れる下る田圃の奥に広がる木梨の里 2023.9.25.
撮影の場所は兵庫県加東市加西市の南東部の山田町の山田町にある。



淡河の里



箕谷 山田の里



白川街道・北須磨 白川の里で 2023.9.23.

押部谷

楯谷

白川の里

若草



野路菊の丘

旗振山



東播磨の郷の初秋の風物詩 加古川東岸小野アルプスの山裾 小野市来住野のそば畑
今年も白の小さな花が畑を真っ白にして咲き始めました。 2023.9.25.

